

ゆずり葉



2024年6月発行
星槎学園高等部
横浜ポートサイド校
星槎高等学校
横浜ポートサイドキャンパス

人を認める
人を排除しない
仲間を作る

編集：嘉指・片岡・亀田

星槎学園高等部 横浜ポートサイド校 校長 塩谷 貴男よりみなさんへメッセージです。



心のキャッチボール



先日、亡き父の13回忌があった。父が亡くなった時、私は仙台で単身赴任中だったが、父の最後は看取ることができた。無口で頑固な父を私は尊敬していた。私に野球を教えてくれたのは父だったからだ。幼い時のある日、キャッチボールをした後の父の言葉を思い出す。『スピードが出てきたぞ！指が痛いよ！』と嬉しそうに汗をふきながらニコニコして声をかけてくれた。多分、キャッチボールしながら私の成長を確認していたのだろう。その言葉を聞きたくて練習に励んだことを思い出した。

年を重ねるごとに、亡き父を思い出す場面が多くなった気がする。一緒に風呂に入ったり、サイクリングしたり、将棋をさしたりなど、今思えば私の成長にとって大切な時間だったと実感している。

みなさん、大事な存在の方々（両親、兄弟、恋人など）とのコミュニケーションを大切にしてください。そして、心にしみる言葉はしっかりと胸に刻んでください。それが、これから生きていく大きな力になります。私たちは、一人では生きていけないのだから。



私の青春の味



私の青春の味は「タピオカ」です。ブームとまではいきませんでしたが、周りのたくさんの子たちが放課後や休日に飲みに行っており、放課後に「タピオカ飲みに行こう！」がいつもの流れでした。コロナが流行するなど想像もしていなかった当時は、みんなで違うフレーバーを注文しシェアをしながら何気ない会話を楽しんでいました。帰るのが惜しいなと感じる時もたくさんあり、「また明日」と会話できるのはあと何回なんだろうと数えていたほどです。時には友達の悩みを聞き、そして聞いてもらい、タピオカを通して本音で話し合えたこともありました。

そんな毎日を過ごしながら進学を経てあつという間に社会人となり、「タピる」というワードまで誕生したことはとても驚きました。タピオカを飲んだりお店の前を通るときにはいつも当時のことを思い出して懐かしさを感じます。高校生活は本当に一瞬です。卒業後の学生生活は教員免許を取得するために授業がビッシリと詰まっており、高校生の時のような生活はなかなか送れませんでした。もちろん、学生時代ならではの楽しい思い出もあり、自分の進んできた道に後悔をしてはいけません。高校時代は、高校の時にしか味わえないことがあります。大人になった今、そのかけがえのない思い出があったからこそ今の私があるのだとつくづく感じています。皆さんもぜひ青春の味を見つけてみてくださいね。意外なポイントになるかもしれません。(3学年副担任：嘉指)



メトペマ杯



6月12日にフットサルの大会、メトペマ杯が星槎大磯キャンパスにて行われました。当初、雨天が予想されていたものの、天候に恵まれ当日は、気温が30度を超える晴天となりました。メトペマ杯には、全国から星槎の各校舎が集まりました。横浜ポートサイド校は、開会式直後の1試合目からの登場となりましたが、フェアプレーの精神のもと、初戦から全力で戦っていました。予選の3試合を戦い、見事2位で予選通過し、準々決勝に進出しました。準々決勝では、横浜ポートサイド校一丸となって戦ったものの惜しくも敗退してしまいました。今回、フットサルを通して、積極的に他校舎の生徒との交流をたくさんし、星槎の仲間との絆を深めることができましたと思います。(福田)



前期中間試験



今年度最初の前期中間試験！放課後に残って勉強していく人や時間いっぱいまで試験と向き合う姿が見られました！特に1年生は高校生活初めての試験ということもあり、かなり緊張した面持ちでした。ぜひ日常からしっかりと復習し、落ち着いて試験に臨めるようになれるといいですね☆

夢了法師の合格へのチェック



《問題》次の英文の下線部に注意して、日本語に訳しなさい。

- 1) I remember reading the book once.
- 2) Remember to read the book.

横浜ポートサイド校の学園通信「ゆずり葉」について



「ゆずり葉」の名は、春に枝先に若葉が出たあと、前年の葉がそれに譲るように落葉することからつけました。その様子を、親が子を育てて家が代々続いていこうに見立てて縁起物とされています。

親から子どもへ 大人から子どもへ受け継いでいくものはたくさんあります。保護者の方と共に子どもへ伝えていく、という思いで学園通信「ゆずり葉」をつくりました。



芸術鑑賞会

～和泉元彌さんの狂言鑑賞～



6月13日(木)、今年度の芸術鑑賞会が行われました。隔年開催の行事のため、2年ぶりの実施でした。今年度は星槎学園4校が県立青少年センターに集い、和泉元彌さんの狂言を鑑賞しました。テレビなどにも出演している有名な方を目の前にし、驚く生徒も多くいました。狂言は笑いを含むのが特徴のひとつ。演目鑑賞ではたくさん笑いが起こっていました。代表生徒は実際に和泉元彌さんに教わり、狂言を体験するという大変貴重な経験もできました。また生徒会の会長は司会、副会長2名は場外誘導として運営のお手伝いをしてくれました。日本の伝統文化に生で触れ、また生だからその迫力を身体全体で感じることができました。(片岡)

狭域通信制高校
技能連携校

※平素の学校運営にあたり、多くの保護者の皆様からご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
今後とも生徒たちのための行事や集まりに皆様の更なるご協力を宜しくお願い申し上げます。



星槎学園高等部 横浜ポートサイド校 星槎高等学校 横浜ポートサイドキャンパス
横浜市神奈川区栄町8-4 TEL:045-451-6751 FAX:045-451-6755

URL <http://www.seisagakuen.jp> [星槎学園高等部:横浜ポートサイド校]を参照

7月 月間予定

日	曜	行事	課外活動
1	月		
2	火	前期単位認定試験①(3年生) 午前授業(1・2年生)	
3	水	前期単位認定試験②(3年生) 午前授業(1・2年生)	
4	木		
5	金	星槎オリンピックスポーツ部門 @とどろきアリーナ	
6	土		
7	日		
8	月		高校野球応援@保土ヶ谷球場(希望者のみ)
9	火		
10	水	前期特履・積上試験(3年生)	
11	木		高校野球応援@伊勢原球場(希望者のみ)
12	金		
13	土		
14	日		
15	月	海の日	
16	火		
17	水		
18	木		
19	金	高等部・フリースクール授業終了	
20	土		
21	日		
22	月	夏期講習I期①	
23	火	夏期講習I期②	
24	水	夏期講習I期③	
25	木		
26	金		
27	土	星槎記念日	
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

remember to ~ は「忘れずに~する」という意味になる。
remember ~ing は「~したことを覚えている」に対して、

《解説》

1) その本は1度読んだ記憶がある。
2) 忘れずにその本を読みなさい。

《解答》